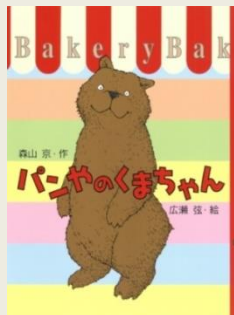


低学年向け



「パンやのくまちゃん」

森山 京 作
広瀬 弦 絵
あかね書房



パンを焼くにおいにさそわれて、森のくまの子が町はずれのパン屋にやってきました。パン屋さん夫婦とくまの子の愛情あふれる物語です。



「ふたりはともだち」

アーノルド・ローベル 作
三木 卓 訳
文化出版局

仲良しのかえるくんとがまくんのほのぼのとした友情物語です。5つのお話が収録されていて、最後の「おてがみ」は、2年生の国語の教科書に載っています。お互いを思いやれるかえるくんとがまくん。おともだちっていいなあと思える作品です。



「すいかのたね」

グレッグ・ビゾーリ 作
みやさか ひろみ 訳
こぐま社

すいかが大好きなワニが、うっかり種をのみこんじゃった！さてさて、お腹のなかで種はどうなるのでしょうか？ユーモアたっぷりな、あれこれ想像して楽しい絵本です。



推薦本 **13** 冊

夏休み わくわくスクール

みなさん、夏休みに読みたい本は決まりましたか？
図書ボランティアのオススメの本を紹介します。
参考にしてみてくださいね。

2022図書ボランティア

低学年向け



「まあちゃんのながいかみ」

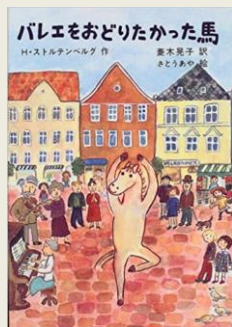
たかどの ほうこ 作
福音館書店

おかっぱ頭のまあちゃん。
もし髪の毛を長く長くのばしたら...
の空想が止まらない。長くなった髪の毛で、魚釣りをしたり、洗濯物をほしちゃう。シャンプーしたら大きなソフトクリームになっちゃうんだって。まあちゃんの空想の世界と一緒に楽しみませんか？

中学年向けから

「バレエをおどりたかった馬」

H・ストルテンベルグ 作
菱木 晃子 訳 / さとう あや 絵
福音館書店



田舎で何不自由なく暮らしていた馬が、ある日バレエの美しさにとりつかれ、町のバレエ学校に入学します。慣れない生活、厳しいレッスン。でも周りの人々の善意に支えられ、見事に優秀な成績で卒業します。しかし.....。人と動物の善意と友情を描いた、ほのぼのと心温まる愉快なお話です。



「つれてこられただけなのに 外来生物の言い分をきく」

小宮 輝之 監修
有沢 重雄 文
偕成社

人間の都合によって勝手につれてこられただけに、外来生物を悪者にするなんて！
外来生物の言い分をコミカルに描いています。
生き物たちの心の叫びを聞いてあげてください。

「チームふたり」

吉野 万里子 作
宮尾 和孝 絵
学研プラス

卓球部に入っている小学6年生のお話。彼はキャプテン。最後の市大会に1才年下の子とチームを組むことになりがちがう。そんな中、お父さんの会社でも大変なことが起こり...
チームとは何かを感じられる本です。



中学年向け

「二平方メートルの世界で」

前田 海音 作
はた こうしろう 絵
小学館

作者の前田 海音さんは、脳神経の病気で入院を繰り返している小学生です。小学3年生の時に書いた作文が、この絵本のもとになっています。病院のベット、二平方メートルの世界で作者は何を思い感じているのか。

同じ小学生のみなさんにぜひ読んでもらいたい作品です。

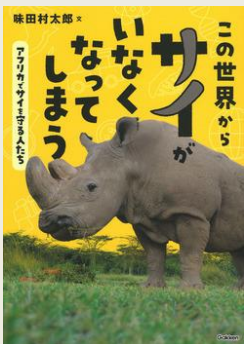


「この世界からサイがいなくなってしまう」

味田村 太郎 文
学研プラス

人間の身勝手な行動でサイは絶滅しかけているのです。絶滅危惧種となったサイを守るため、様々な活動をしている人々がいます。サイの子どもを保護する孤児院や、世界各地の科学者達がキタシロサイを救おうと立ち上げたプロジェクト等があります。

何故サイは絶滅しかけているのか。その理由は単純ではなく、根深い社会の闇があることを教えてくれます。迫真のノンフィクション作品。



「ココロ屋 つむぎのなやみ」

梨屋 アリエ 作
菅野 由貴子 絵
文研出版

つむぎという気の弱い女の子が主人公。クラスメイトのちかこに意地悪され、負けたくない、私のココロを入れ替えたいと思うようになる。すると、友達ひろきくんから、自分のココロを入れ替えることができる「ココロ屋」のことを教えてもらう。そして、「意地悪なココロ」を入れてもらい、意地悪をしていくのですが...



高学年向け

「逃走中 オリジナルストーリー」

小川 慧 著
集英社みらい文庫

大人気番組が小説化したものです。気が付くと渋谷にいた小6の陽人達。突如大型ビジョンに【「逃走中」参加者のみなさまへ】の文字！そしてゲームマスター月村サトシの姿が。突然ゲームに参加することになった陽人達は果たして逃げ切ることが出来るか!?ハラハラドキドキ、決死のサバイバルゲーム。いつでもどこでも、すぐに続きが読みたくなる。

現在6シリーズ。



「この計画はひみつです」

ジョナ・ウインター 文
ジャネット・ウインター 絵
さくま ゆみこ 訳
鈴木出版

77年前の1945年8月、広島と長崎に落とされた原子爆弾がどんな風に作られたのかを書いたアメリカの絵本です。

もうすぐやってくる原爆の日を前に、戦争や核兵器のことを考えてみませんか。



「5分後に思わず涙。青い星の小さな出来事」

桃戸 ハル 編・著
田中 寛崇 絵

「5分後に意外な結末」シリーズの一つで、感動する話があつめられています。一冊に、5分で読める話が30話まとめられていて、病院の待ち時間や朝読書、寝る前に読むのにちょうど良いです。

どのシリーズから読んでOK！
気になる表紙の本から読んでみてください。

